

第1学年2組 国語科学習指導案

平成25年12月9日（月） 第2校時
場 所 1年2組 教室
授業者 教諭 篠原 瑠梨子
在籍児童数 男子11名女子15名計26名

1 単元名 おはなしれっ車をつくろう（自分の好きな本の好きなところを紹介しよう）

教材名 「ずうっと ずっと 大すきだよ」

2 本単元の意図

（1）児童の実態

本学級の児童は、みんなで音読を楽しんだり、言葉集めなど進んで活動したりと、国語の授業が大好きである。朝の一分間スピーチでは、みんなの前に立って、緊張しながらも話したいことを伝え、友達から「上手だったよ。」と言われ、満足そうな表情を浮かべる児童も多い。しかしながら、相手に伝えることに抵抗を示す児童が少なくない。その時々活動の中で、自分の気持ちを相手に伝えてみて感じることを、相手のことを聞いてみてわかること、友達と自分の良さを認めあえる大切さを実感できるよう支援している。

「読むこと」については、読み聞かせが好きで、学校図書館司書や担任、保護者による読み聞かせをいつも楽しみにしている。1学期には、字の少ない絵本を読む児童や指を置いて拾い読みをしていた児童も、少しずつ簡単な物語を楽しめるようになってきた。10月からは、「読書カード」に自分の読書記録をつけはじめた。このことがきっかけとなり、以前にも増して活発に読書をする姿が見られるようになった。授業では、「ゆうだち」や「おおきなかぶ」の学習の中で、登場人物の行動や場面の様子を読み取り、想像を広げて動作化したり、音読を工夫したりしてきた。

「読むこと」の前単元「くじらぐも」では、くじらぐもはどんな雲なのか、自分の考えを持って話したり、「自分だったら…」と考えて発表する活動を多く取り入れた。その活動の中で、自分の考えの根拠を求めて文を読み直したり、友達の考えの根拠はどこにあるか文の中を探したりし、何度も読み返すことや友達と考えを交流する楽しみに気づき始めている。本単元でも、一人ひとりの思いや考えを大切に、さらに交流することで生まれてくる面白さや深まりを大切にしたい。

（2）育成する言語能力

本単元で育てたい言語能力は、C読むことの「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」と「オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。」である。そこで、「ずうっと ずっと 大すきだよ」において、登場人物（主人公）をおさえ、その行動や思いを中心に想像を広げながら文章を読み取っていく。また、文章の内容について、話したり、友達と交流したりする中で、自分の考えや思いを大切にすることに気づき、「自分の好きな話」の「自分の好きな場面や文章」を紹介するおはな

しれっ車をつくる言語活動を設定する。(さらに、おはなしれっ車を読みあうことで、自発的な読書活動を促す。)

(3) 教材観

本単元では、好きな本の好きなところを紹介する活動を通して、自分の思いや考えをまとめ、発表することをねらいとしている。児童の読書記録を見ると、好きな作品やシリーズばかり読んでいる児童、少し長い読み物に抵抗のある児童がいる。一方、読書記録の一言欄に「〇〇ちゃんは怖い話って言ってたけどそうでもない」「〇〇くんのおすすめを読みました」など友達と読書記録を交流している児童もいる。本単元を通して友達の紹介カードを読み、いろいろな読み物に興味を持ち、さらに読書意欲を喚起できるようにする。そして、本単元以後もテーマやジャンルなどを変えておはなしれっ車の活動を続け、児童の本の世界を広げていく。

おはなしれっ車では①本の題名、②登場人物(主人公)③お話の中であったこと(好きな言葉、すきなところ)を書く。よって、「ずうっと ずっと 大すきだよ」を例にして、本単元の2時間目で②に関連し、登場人物や主人公とはどういうものなのか探して、話し合い、自分なりに見つけていく。そして、3～6時間目では③に関連して、エルフと僕の関係を探り、文章の中で一番心に残る、好きなところを友達と意見交換し、見つけていく。この活動の中で、自分の考えに自信を持ち、もっと思ったことを発表したいという意欲を大切に。「じぶんだったら・・・」と考えて思いを発表できるよう、また、どうしてそう思ったのか、理由を言えるよう支援していく。しかしながら児童の多くは、集合住宅で生活しており、家庭で生き物を飼育した経験がない。また、動物にふれる経験も少なく、生活科の学習で、虫に触れない、ウサギやモルモットが怖いという児童もいた。よって、主人公である「ぼく」と自身との経験を結び付けることは難しいかもしれない。「ぼく」の行動や言葉を読み取る中で、「ぼく」の気持ちに共感させていきたい。

3 単元の目標

- (1) 本を紹介しあうことを楽しもうとしている。(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 登場人物の行動を中心に、想像を広げながら物語を読むことができる。(読むこと)
- (3) お話と自分の経験とを結び付けて読むことができる。(読むこと)
- (4) 本を紹介する時に必要な言葉を理解している。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

4 単元の評価規準

ア 国語への 関心・意欲・態度	イ 読むこと	エ 言語についての 知識・理解・技能
『ずうっと ずっと 大すきだよ』の読み取りをふまえて、自分の好きな本の好きな場面を紹介するという言語活動」を通した指導 ・学習指導要領との関連 「C 読むこと」の言語活動例 オ 読んだ本について好きなところを紹介すること		
① 本を紹介しあうことを楽しもうとしている。	① ぼくの気持ちやエルフとの関係に気をつけて物語を読んでいる。	① 題名・登場人物(主人公)・好きなところとはどういうものを理解している。

	<p>② ぼくの行動や気持ちについて、共感・反発・疑問を表している。</p> <p>③ 友達に紹介するために、好きな言葉や文、場面などを選んでいく。</p>	
--	--	--

5 指導と評価の計画（全 9 時間扱い）

次	時	おもな学習活動	学習内容	学習活動に即した評価規準と評価方法
第一 次	1	<p>○本単元の活動について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなしれっ車を作ることを知る。 ・学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本の紹介をするおはなしれっ車の内容（題名、作者や訳者、登場人物、好きなところ、思ったこと） ・「ずうっと ずっと 大すきだよ」を通して学習することを学ぶ。 	<p>おはなしれっ車をつくることに興味を持っている。</p> <p>ア - ①（観察）</p>
第二 次	2	<p>○物語の全文を読んで心に残ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範読を聞き、物語を知る。 ・物語のあらすじをおさえる。 ・心に残ったことを発表して交流する。 <p>○登場人物を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語に出てきた人物をおさえる。 ・登場人物をおさえる。 <p>○おはなしれっ車を書く（題名、作者と訳者、登場人物）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字の読み方 ・出来事 ・心に残ったところ ・登場人物 ・作者と訳者 	<p>場面の様子や出来事に気をつけて読んでいく。</p> <p>イ - ①（発言・ワークシート）</p> <p>登場人物という言葉の意味を理解している。</p> <p>エ - ①（発言・ノート）</p>
	3 ～ 5	<p>○場面ごとにエルフの様子とぼくの行動を読み取る。</p> <p>○文章中から心に残った場面、気になった場面、興味を持った場面に付箋を貼り、交流する。</p> <p>○場面ごとに、好きな場面や文章をワークシートに書く。</p>	<p>・情報の取り出し方</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>「ぼく」の行動 「ぼく」の言葉 「ぼく」の気持ち</p> </div>	<p>ぼくの気持ちや行動に気をつけて物語を読んでいく。イ - ①（付箋を貼った場面・発言）</p> <p>ぼくの行動や気持ちについて、共感・反発・疑問を表している。イ - ②（発言・ワークシート）</p>
	⑥	○自分の好きな場面や文章を一つ	・自分の思いへの気づき	ぼくの行動や気持ちにつ

	(本時)	<p>選び、その理由や思ったこと、考えたことについて意見交換する。</p> <p>○自分の好きな場面と、思ったことをおはなしれっ車に書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達への思いへの気づき ・作品の中で一番好きなどころ（自分の思いの強いところ） 	<p>いて、共感・反発・疑問を表している。</p> <p>イ - ②（発言・おはなしれっ車）</p> <p>好きなところとはどういうものかを理解している。エ - ①（発言・おはなしれっ車）</p>
第三次	7	○今まで読書してきた本のリストから1冊選んでおはなしれっ車をかく。	<ul style="list-style-type: none"> ・題名 ・作者や訳者 ・登場人物（主人公） ・作品の中で一番好きなどころ（自分の思いの強いところ） 	<p>友達に紹介するために、好きな言葉や文、場面などを選んでいく。</p> <p>イ - ③（おはなしれっ車）</p>
	8	○おはなしれっ車を読みあう。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のおはなしれっ車を読むこと ・友達への思いへの気づき 	<p>本を紹介しあうことを楽しもうとしている。</p> <p>ア - ①（活動の様子）</p>
	9	○本を読んで、感想を交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の読んだ本を読むこと ・友達に感想を伝えること 	

6本時の学習指導

(1) 本時の目標

○ぼくの行動や気持ちについて、共感・反発・疑問を表しながら読むことができる。(読むこと)

○好きなところとはどういうものかを理解している。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

(2) 展開

学習活動	学習内容	指導・支援 (○) と評価 (◇) の創意工夫	時間
1 本時の学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方の確認 	○自分の一番気に入ったところ（自分の思いの強いところ）について意見交換することを確認する。	3
2 自分の考えを発表し、友達の考えを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぼく」の行動から分かる気持ち ・友達への思いへの気づき 	○一番伝わりやすいところを発表する。理由や思ったことも言えるよう支援する。	15

<p>3 好きなところの選び方をおさえる。</p>	<p>・作品の中で一番好きなところ</p>	<p>○理由がうまく言えない児童には、友達の意見で近いものを言えるようにする。</p> <p>◇ぼくの行動や気持ちについて、共感・反発・疑問を表している。</p> <p style="text-align: center;">【ノート・発言】</p> <p>○好きなところは、理由をつけて言えるところ、自分の思いを言えるところであることをおさえる。</p> <p>◇好きなところとはどういうものかを理解している。</p> <p style="text-align: center;">【おはなしれっ車・観察】</p> <p>○具体的に「ずうっとずっと大好きだよ」をおはなしれっ車に書くとき、好きなところをどのように書いたらいいのか、児童から出た好きなところや理由を例にして示す。</p>	<p>8</p>
<p>5 意見交換後の好きなところとその理由をおはなしれっ車に書く。</p>		<p>○友達の意見を聞いて思ったことや自分の考えたこともあわせて書くように支援する。</p> <p>「自分だったら…」</p> <p>「…というところがわらっちゃいました。」</p> <p>「ぼくの…の気持ちがわかりました。」</p>	<p>15</p>
<p>6 次時の活動について確認する。</p>	<p>・本時の振り返り ・次時の学習内容</p>	<p>○今まで読書してきた本のリストから1冊選んで紹介カードを書くことを確認する。</p>	<p>4</p>